

## 平成29年度 運営基本方針

平成28年度の岡山県バレーボール界は、中学校・高等学校を中心に華々しく活躍しました。このことは、バレーボールの基礎作りに携わった小学生連盟の成果でもあると嬉しく感じています。

さて、日本小学生バレーボール連盟では、バレーボーラーの減少や指導者の資質・倫理にかかわる問題が大きな課題となっています。岡山県小学生バレーボール連盟でも、同様の課題を抱えています。特に、練習や試合中の指導者の暴言については、皆無とは言えません。指導者、保護者が一体となって排除し、健全で楽しいバレーボールを展開していくよう努めなければなりません。また、各種事業を通して、岡山県小学生バレーボール連盟の目標『人間力の育成』を達成し、岡山県バレーボール協会の加盟団体としても、その責務を果たすことに努めていきます。

以下に掲げる基本方針を関係者全員が理解し、プレーヤーズファーストのバレーボールを展開していきます。

### めざす子ども像

思いやりのある子ども  
自ら進んで活動する子ども  
協調性のある子ども

### めざす指導者像

バレーボールの楽しさ、素晴らしさを伝える指導者  
挨拶・マナーを重視する指導者  
忍耐力をつけ、達成感を味わわせる指導者

### 体罰・暴力等の根絶

岡山県小学生バレーボール連盟は、体罰・暴力・暴言等のトラブルを排除し、指導者と保護者が一体となって、円滑なチーム運営ができるよう努めていきます。万一、事案が発生した場合は、該当者（チーム）に厳しいペナルティーを科します。

### バレーボール人口の拡大

岡山県小学生バレーボール連盟においても、選手の減少が続いています。上記の「めざす指導者像」の実現が人口拡大につながると考えます。本年度も、ゴールドプランプログラム幼稚園・保育園ソフトバレー支援事業を実施し、バレーボーラーの拡大を図っていききたいと考えています。各地区においても、人口拡大と普及に努めていただきたい。

### 指導者・審判の資質向上と人材育成

小学生バレーボールの目的を達成するために、県協会との連携も密にしながら、指導者の資質向上と新しい指導者の養成に努めていきます。（研修会、講習会、大会）

また、円滑な大会運営にするために、公認審判員の養成に一層努力していききたいと考えます。